

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

学校名 小城市立小中一貫校芦刈観瀾校

1 前年度 評価結果の概要
・学習規律の確立のために、「学びの7本柱」を粘り強く指導したことで、学習に前向きに取り組む児童生徒が増えた。標準学力検査(CRT)の結果において、ほとんどの学年・教科で前年度より伸びが見られたものの、課題も残った。職員一人一人の授業力向上と学習規律「学びの7本柱」のさらなる定着に向けて全職員で取り組むことで、学力向上を図る。
・運動習慣の改善については、委員会によるイベントの企画・実施を計画的に行ったり、徒歩登校について家庭へ協力を依頼したりする。また、昼休みや業間休みを利用して、外遊びを呼びかける。
・心の教育では、体験学習や活動等を多く取り入れ、情操教育の充実を図ることができた。また、家庭との連携により、食事の大切さを理解している児童生徒が増えた。

2 学校教育目標 ふるさとを愛し、未来を拓く、心身ともに元気な子どもの育成 ～「ともに」「つなぐ」小中一貫教育～

3 本年度の重点目標
◆学力向上 ◆多様な活動を促進するための教育活動や働き方の見直し ◆保護者・地域連携の推進
◆基本的な生活習慣の確立と体力の向上 ◆豊かな心の育成
◆生徒指導体制の確立 ◆小中一貫教育の成果の確認

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目
重点取組 具体的取組 中間評価 最終評価 学校関係者評価
●学力の向上
●心の教育
●健康・体づくり
●業務改善・教職員の働き方改革の推進
●特別支援教育の充実

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目
重点取組 具体的取組 中間評価 最終評価 学校関係者評価
○小中一貫教育の充実・活性化
○コミュニティ・スクールの推進

5 総合評価・次年度への展望